

感じて！ 大地の息吹 悠久の歴史 人々の営み

那須烏山 ジオパーク構想

境橋と落石の紅葉

Nice ^{かい}崖
Nice life

龍門の滝

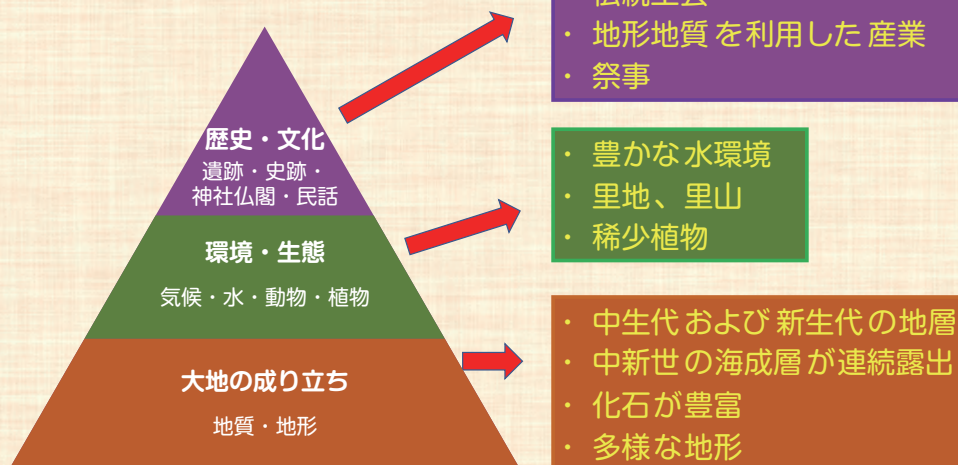


那須烏山ジオパーク構想

那須烏山ジオパーク構想とは

ジオパークとは「大地（Geo）」と「公園（Park）」を合わせたものです。地形や地質を見どころとし、それを背景とした動植物や人の歴史や産業、文化など地域全体をひとつの「大地の公園」として、「地形地質から地域の過去を知り、未来を考え活動する」ことを目指すものです。

那須烏山ジオパーク構想



豊かな自然が残る那須烏山市には、日本列島形成の様子や、海に沈んでいた時代の様子などが大地に記録されています。その大地では、旧石器の時代から地形地質を巧みに利用しながら、人々が生活してきました。その証拠となる遺跡や史跡も市内に数多く残されています。人々の生活を支えてきた産業、人々が生み出した文化も脈々と受け継がれてきました。

那須烏山ジオパーク構想では、それぞれの結びつきを明らかにしながら、保全、活用することを目指します。



那須烏山地域（以下、「なすから地域」という）で、地形地質と人々がどう結びついてきたのか、代表的な例を紹介しましょう。

【歴史との結びつきの例】

烏山城跡（城山）【国指定史跡】



烏山城跡のある丘陵



烏山城跡の石垣

東側は那珂川とその^{だんきゅうがい}段丘崖、北と西側は喜連川丘陵につながり、山体は崩れると^{きゅうしゅん かけ}急峻な崖を形成する火山噴出物からなる天然の要塞である。山体の^{かく}火山角礫岩は石垣や道の造成に活用した。湧き水のほか、帯水層を利用した井戸もあった。中世の山城としては、石垣があり居城も可能な珍しい城である。なすから地域には地形地質を巧みに利用した山城や^{とりて}砦が数多く残る。

【産業との結びつきの例】

程村紙の紙漉き（小原沢・和紙の里）【国選択無形文化財】



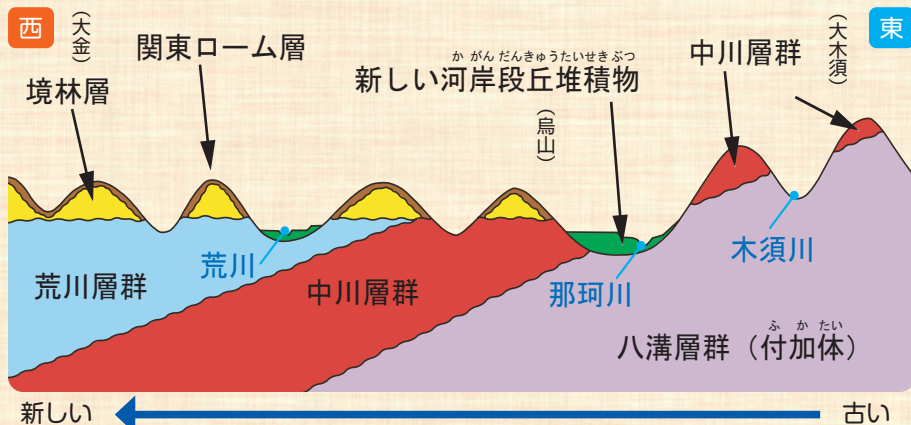
程村紙

程村紙は烏山和紙を代表する和紙で、「厚紙の至宝」と評される。紙漉きには冷たく清らかな水が必要で、境地区や向田地区の農家で冬場に盛んに作られた。西洋紙の普及により衰退し、現在は1軒のみで^{ふしま}伝承されている。襖や障子などのほか、投票用紙や皇居の懐紙、烏山藩藩札などの重要書類で用いられてきた。現在は、「烏山の山あげ行事」の山の貼り紙や卒業証書、名刺入れ等に用いられている。原料の楮は^{こうぞ}成長が早く、根を強く張り傾斜地の土砂災害防止にもなった。

“なすから地域”の地形地質

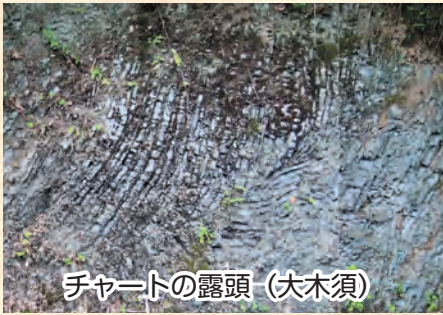
なすから地域の地形は、那珂川より東の山地と西の丘陵地、河川の浸食や堆積で形成された平地の3つに大別されます。その大地を形成する地層も地域ごとに異なり、それぞれ特徴的です。

陸化後の大地を河川が削って、現在の地形を形成



地層	年代	成り立ち
関東ローム	更新世中～後期	火山灰や軽石などの火山噴出物
	60万～1万年前	偏西風によって運ばれ、雪のように降り積もった
境林層	更新世前～中期	円礫や砂泥などの河川堆積物
	100万～70万年前	陸化した大地を削りながら大河が流れていた頃
荒川層群	中新世中～後期	海の始まりから海進・海退の一連の堆積物
	1450万～900万年前	時代や環境変化に伴う堆積物や化石の変化がわかる
中川層群	中新世前期	陸成の火山噴出物
	1860万～1670万年前	大陸から離れた日本のもとが現在の位置にきた頃
八溝層群	三畳紀～ジュラ紀	チャートなどの付加堆積物(※)と大陸起源の砂が主体
	2.5億～1.5億年前	日本のもととはユーラシア大陸の東縁にあった

※付加堆積物：海洋プレートが大陸プレートに沈み込む際に、はぎ取られて大陸プレート側に押し付けられるように溜まった海洋底の未固結の堆積物



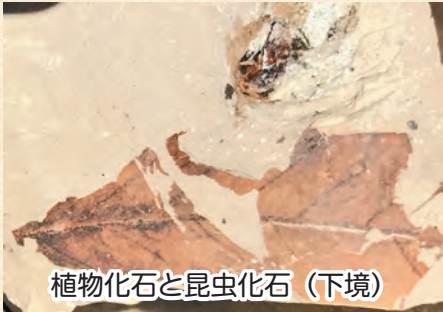
チャートの露頭（大木須）

放散虫などのプランクトンの死骸が降り積もってできた地層



亜炭採掘跡（下境）

中川層群元古沢層は植物化石をよく含み亜炭層もある



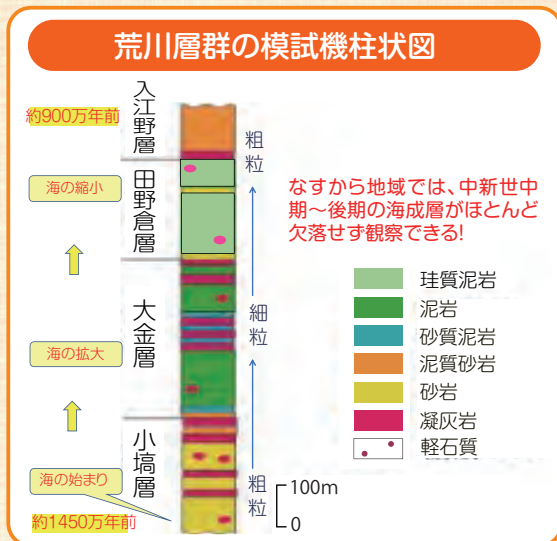
植物化石と昆虫化石（下境）

約 1800 万年前の県内最古の植物と昆虫化石



喜連川丘陵（月次・神長）

陸化後に大河川により形成された丘陵は、ほぼ同じ高さで南北に連なる



貝化石密集層（大里）

大金層中部の貝化石密集層は、曲田や高瀬、南大和久、熊田など複数個所でみられる

“なすから地域”の地形地質と歴史

なすから地域には、縄文遺跡や古墳、製鉄遺跡、東山道駅路、中世以降の山城や砦、陣屋など数多くの史跡があります。それぞれ地形地質を巧みに利用しています。



縄文遺跡の分布図

縄文時代を通して多数の遺跡がある。縄文時代前期の「環状集落」と呼ばれるムラ（鴻野山の後久保遺跡や中山の富士ヶ丘遺跡など）、中期の貯蔵穴を伴う集落（上川井の新道平遺跡、鴻野山の荻ノ平遺跡、興野の羽場遺跡など）、後期から晩期の集落（向田の滝川前遺跡、下境の鳴井上遺跡など）である。河川や湧水など豊かな水環境と平坦な高台を利用している。



鉄滓（高瀬）

高瀬の北原遺跡から、不純物を多く含んだ鉄の塊（鉄滓）が出土している。荒川の砂鉄を利用していただようである。



大和久古墳群（南大和久）

かつて30基を越す古墳があったが、開発により現存するのは前方後円墳2基と円墳3基である。



向山（十二口）横穴墓群（南大和久）



曲田横穴墓群（曲田）

古墳時代後期には盛土のない横穴式の墓が多くつくられた。なすから地域には10か所88基の横穴墓がある。その多くは大金属中部の軽石凝灰岩の地層を掘ったものである。厚さ約10mの白い地層で、掘りやすいが崩れにくい、植物も根付きにくいので目立つ。



長者ヶ平官衙遺跡と東山道駅路（鴻野山）

長者ヶ平官衙遺跡は、奈良・平安時代の官衙（役所）であったと考えられる。東山道駅路は、都と東国を結ぶ重要な道であった。幅12mで側溝もあった。高まりを削り、低地は盛土し平坦で直線的な道とした。

荒川の段丘崖にある要害で、城の前後は蛇行する荒川に挟まれる。山体の軽石凝灰岩は掘削しやすく、土壘からぼりや空堀を築くのは容易であったと思われる。登り口の芳朝寺は、江戸時代の城主大田原氏の菩提寺である。小塙に小塙陣屋跡（森田陣屋）を構えた。



森田城跡（森田）

“なすから地域”の地形地質と産業

なすから地域の産業は大地の恵み、河川の恵み、天の恵みなど自然を活かし、そこに人知を加え伝承、発展してきました。

八溝地域の豊かな清流と水はけのよい大地では、そばや小麦などが栽培されてきた。八溝山系の豊かな水資源と、山間地域による寒暖の差により、香り高く、甘みも感じる質の高いそばである。



そば畑 (小埜)



国見の棚田

なすから地域の丘陵や山地には、谷津^{やっ}地形が多くみられる。低地に向かって扇状に浸食された地形である。山体に蓄えられた水は、この谷津に集まり、沢を流れ下る。谷津の中では、農業用の貯水池や棚田を作っている。「国見の棚田」は「日本の棚田百選」に選定されている。

那珂川以西の丘陵地の多くは、水の通りがよい砂礫層^{されきそう}が主体である。丘陵頂部は概ね平坦だが、水はけがよく野菜栽培に適さない。平頂部や緩い傾斜地ではリンゴやナシ、ブドウ、ブルーベリー、ウメなどの果樹を栽培している。



丘陵地の果樹園 (中山)



国見の谷津地形



国見のみかん園

国見地区のみかん園は、日本最北限のみかん産地といわれる。みかん栽培には、温暖な気候と水はけのよい土地が必要である。北から南に向かう谷津地形は日当たりがよい。北側と東西の山体により、冷気が入ることも少ない。傾斜の強い谷津地形なので、水はけがよく、傾斜地のみかんの木に日もよく当たる。



どうくつ酒造（神長）

嘉永2年（1849年）創業の島崎酒造は、那珂川の清らかな伏流水と良質な原料米を用いている。先の大戦中に戦車組立のために掘られた洞窟を貯蔵庫として、長期洞窟熟成酒造りを行っている。

中山地区の中山石、月次の月次石、熊田の井上石など石材の採掘跡がある。小埧層の軽石質凝灰岩で、近隣でかまどや納屋の基礎石などに用いられた。ガスや電気の普及と、機械掘りで販路を拡大した大谷石に押され衰退した。田野倉では、田野倉層の珪藻質泥岩けいそうしつでいがんを用いて七輪を作っていた。



井上石の採掘跡（熊田）

那珂川の水運

(内川廻りによる黒羽～江戸間ルート)



サケの火祭り漁 (野上)



那珂川の観光やな (滝田)

那珂川は、江戸時代に東北地方と江戸を結ぶ水運の要として発達した。アユやサケ、ウナギ、モクズガニなどの漁猟も盛んに行われてきた。支流の荒川を含め複数の観光ヤナがある。



耕便門の記念碑 (旭)

烏山城主の大久保忠成の命で、文政8年(1825年)に隧道掘削さいどうくつさくを行った。405mの隧道を1年3か月で完成させた。約40haの新田と数件の水車小屋も設けた。二宮金次郎の指導もあり、藩の財政は潤った。

稲作のために、河川の流路を変えた。青は現在の河道かどう。赤はかつての河道で、段丘崖だんきゅうがしがそびえる。

(国土地理院 CKT20151を改変)



荒川の川廻し (三箇)

“なすから地域”の祭り

なすから地域には、地域住民の様々な信仰による祭事が受け継がれています。



烏山の山あげ行事

【ユネスコ無形文化遺産】
【国指定重要無形民俗文化財】

烏山の山あげ行事は、八雲神社の祭礼にあわせて行われる。歌舞伎芝居の舞台背景用の大きな山は、解体、移動、組み上げを繰り返し、町中を巡行する。山には烏山和紙が用いられる。

【国選択無形民俗文化財】

埴の天祭行事と念仏踊りは、三箇の松原寺を開山した出羽出身の烏海上人が伝えたとされる。松原寺境内に天小屋を組立て神主と僧、行人が天棚で神仏に祈り、舞台では天祭踊りを披露する。



埴の天祭



熊田太々神楽

熊田の熊野神社の例大祭に奉納される神楽である。宮原八幡宮では、宮原八幡宮観世流太々神楽が開催される。



下境佐々良獅子舞

稲積神社二百十日祭で、国土安穏と五穀豊穡を祈願し、舞と佐々良歌を奉納する。日枝神社例大祭の興野ささら獅子舞、森田郷の弁財天祭での森田の獅子舞などもある。



エンジョイ！ “なすから地域”

なすから地域の自然や歴史、文化の楽しみ方はいろいろ。エリアを決めて見て回るもよし、テーマを決めて見て回るもよしです。1日では見て回れないほど見どころ満載です。



●エリア周遊の例

〔経由地〕

烏山駅周辺

山あげ会館→烏山和紙会館→烏山城跡

烏山駅から滝駅

〔天性寺南側〕→八溝層群の崖→〔こども館→烏山小北側〕→中川層群の火山角礫岩の崖→太平寺→龍門の滝→ふるさと民芸館・龍門カフェ

大金駅周辺

荒川の穿入蛇行 (B&G海洋センター) →大金吊り橋→向山 (十二口) 横穴墓群→オオガネクジラ発見地 (大金層の崖)

小埜駅周辺

荒川右岸の小埜層の崖→森田陣屋跡→猿久保田んぼ公園 (6月にはホタル祭り) →芳朝寺→森田城

国見、小木須周辺

木戸不動尊→国見みかん園・棚田→国見峠→烏山大橋→宮原八幡宮

●テーマ周遊の例

滝巡り

龍門の滝、栄出の滝、滝田の大滝

橋巡り

境橋 (土木遺産)、烏山大橋、興野大橋、大金吊り橋 (ウォーキングトレイル)

城跡巡り

上川井城跡、下川井城跡、小志鳥城跡、烏山城跡、森田城跡、向田城跡、稻積城跡

古墳巡り

曲田横穴墓群、向山 (十二口) 横穴墓群、大和久古墳群、久保前古墳、小志鳥横穴墓群

史跡巡り

長者ヶ平官衙遺跡附東山道跡、耕便門の碑

景勝地巡り

平群山、花立峠、国見峠、毘沙門山、籠山の奇岩群、落石 (境橋付近の紅葉は絶景)

● 那須烏山ジオパーク構想関連施設



山あげ会館

- 【入 場 料】 250円
 【開館時間】 午前9時～午後4時
 【休 館 日】 火曜日（祝日の場合は翌日）
 【電 話】 0287-84-1977
 大屋台の展示や、ミニチュア劇などで「烏山の山あげ行事」を紹介



龍門ふるさと民芸館・龍門カフェ

- 【入 場 料】 無料
 【開館時間】 午前9時～午後4時
 カフェは午前10時～午後3時
 【休 館 日】 火曜日（祝日の場合は翌日）
 【電 話】 0287-83-2765
 展望台やテラスから龍門の滝を一望できる。周辺の民話や伝説などを紹介



烏山和紙会館

- 【入 場 料】 無料
 【開館時間】 午前9時～午後5時30分
 【休 館 日】 火曜日
 【電 話】 0287-82-2100
 大正時代の擬洋風建築物で、和紙製品の展示即売と和紙に関する資料の展示



大昔の那須烏山がわかる教室

- 【入 場 料】 無料
 【開館時間】 午前9時30分～午後4時
 【休 館 日】 土曜日・日曜日・祝日
 ※観覧には事前申し込みが必要。
 【電 話】 0287-88-6223（市生涯学習課）
 市内の旧石器時代から平安時代までの遺跡と選りすぐりの出土品を紹介



龍門の滝案内所

- 龍門の滝入口にある、ボランティアが運営する小さな案内所。開所は日曜日のみ

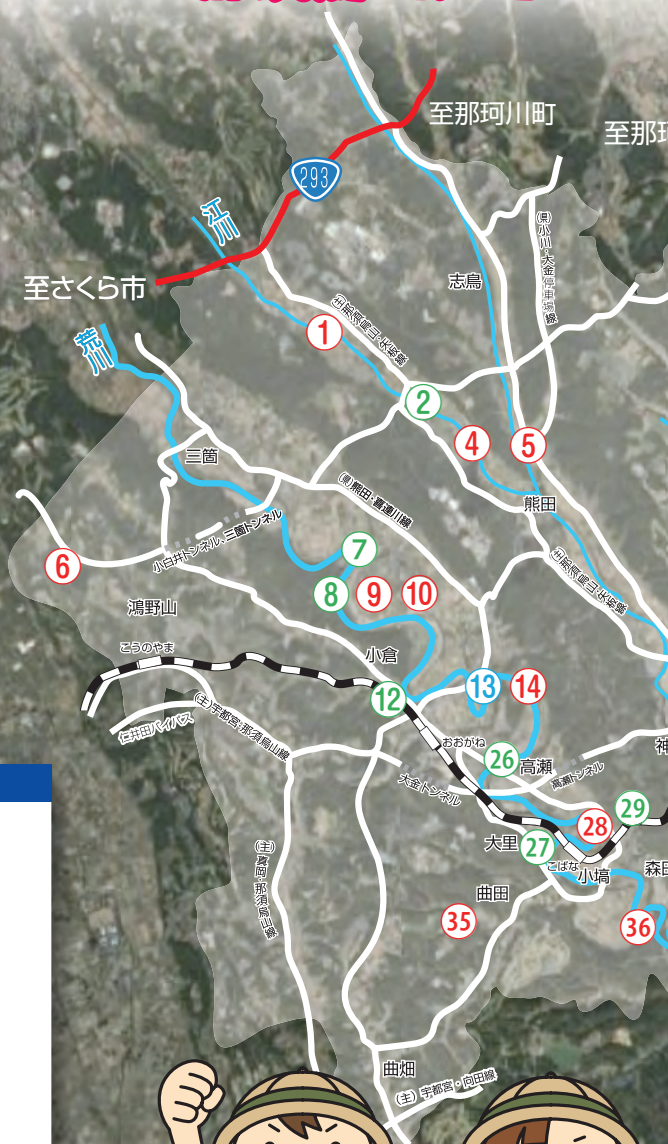
史 跡

- ① 上川井城跡
- ④ 下川井城跡
- ⑤ 小志鳥城跡・小志鳥横穴墓群
- ⑥ 長者ヶ平官衙遺跡附東山道跡
- ⑨ 久保前古墳
- ⑩ 大和久古墳群
- ⑭ 向山（十二口）横穴墓群
- ⑮ 烏山城跡
- ⑳ 耕便門の碑
- ㉘ 小埴陣屋跡（森田陣屋）
- ㉚ 曲田横穴墓群
- ㉜ 森田城跡・芳朝寺
- ㉞ 向田城跡
- ㉟ 稻積城跡・稻積神社

建 造 物

- ⑬ 大金吊り橋・荒川の穿行蛇行
- ⑰ 興野大橋
- ⑲ 境橋・落石
- ㉑ どうくつ酒蔵
- ㉒ 烏山和紙会館
- ㉓ 宮原八幡宮
- ㉔ 烏山大橋
- ㉕ 山あげ会館
- ㉟ 龍門ふるさと民芸館・太平寺
- ㊱ 滝案内所
- ㊳ 大昔の那須烏山がわかる教室
- ㊴ 和紙の里
- ㊵ 木戸不動尊

那須烏山ジオパーク



ク構想サイトマップ



景勝地

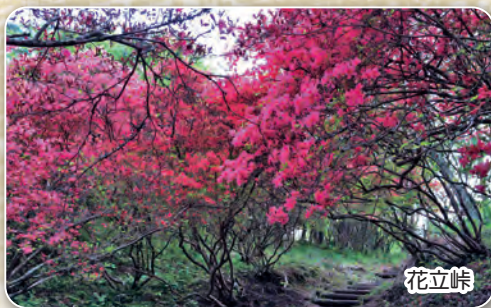
- | | |
|---------------|-------------|
| ② シモツケコウホネ | ⑳ 小埜層の地層 |
| ③ 中山石採掘跡・星宮神社 | ㉑ 猿久保田んぼ公園 |
| ⑦ 三箇の川廻し | ㉒ 龍門の滝 |
| ⑧ 残存ブナ | ㉓ 花立峠 |
| ⑪ 滝田の大滝 | ㉔ 横枕のホテル保全地 |
| ⑫ 栄出の滝 | ㉕ 籠山の奇岩群 |
| ⑬ 毘沙門山 | ㉖ 国見峠 |
| ⑭ 平群山 | ㉗ 棚田・みかん園 |
| ⑮ オオガネクジラ発見地 | |

至茨城県
常陸大宮市





木戸不動尊



花立峠



籠山の奇岩群



国見の雲海



上川井城跡



オオガネクジラ発見地



シモツケヨウホネ

那須烏山市
観光協会



那須烏山
デジタル博物館



大昔の那須烏山が
わかる教室



那須烏山
ジオパーク構想

那須烏山ジオパーク構想推進協議会

(那須烏山市教育委員会生涯学習課文化財グループ)

〒321-0595 栃木県那須烏山市大金240

TEL0287-88-6223 FAX0287-88-2027

shohgaigakushu@city.nasukarasuyama.lg.jp